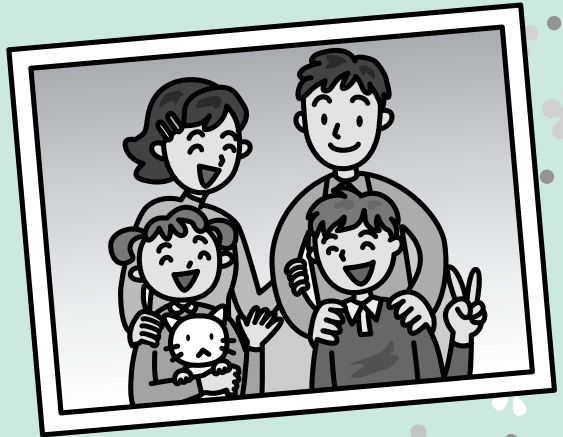


平成二十一年度

わが家の
すこやか日記



はじめに

泣いたり笑ったり、時にはおこったりと子育ては日々ドラマの連続です。家庭教育啓発冊子「わが家のすこやか日記」は、家族のふれあいや子育てに関するエピソード等、お寄せいただいた作品のうち、三十作品を冊子にまとめたものです。

子どもから高齢者の皆様からお寄せいただいた作品には、家族への愛情や感謝、あたたかい心と心の通い合い、それぞれの家庭のルールなど、すばらしい家族模様が描かれています。

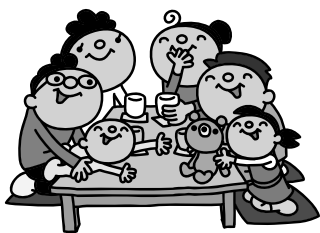
この冊子を通して、子育て中の方はもちろん、多くの方に、子育てのすばらしさや、家族の絆の大切さなどをお届けできたらと願っています。

まずは、それぞれの作品をじっくりと味わっていただき、それぞれの家族の様子や思いを心で感じ取っていただきたいと思えます。

そして、御家族や御友人で、感想について語り合っていたとき、そこから、それぞれの御家庭のアイデアあふれる新たな取組が誕生することを期待しております。

★こんな活用方法はいかがでしょうか。

- わが家のルール等について、親子で語り合う際の話題として。
- 子育て広場等の親子が集まる場で、子育てについて語り合う際の資料として。
- PTA主催の懇談会など、保護者同士が家庭教育について語り合う場での資料として。
- 道徳等の授業における導入の際の資料として。



●児童・生徒の部

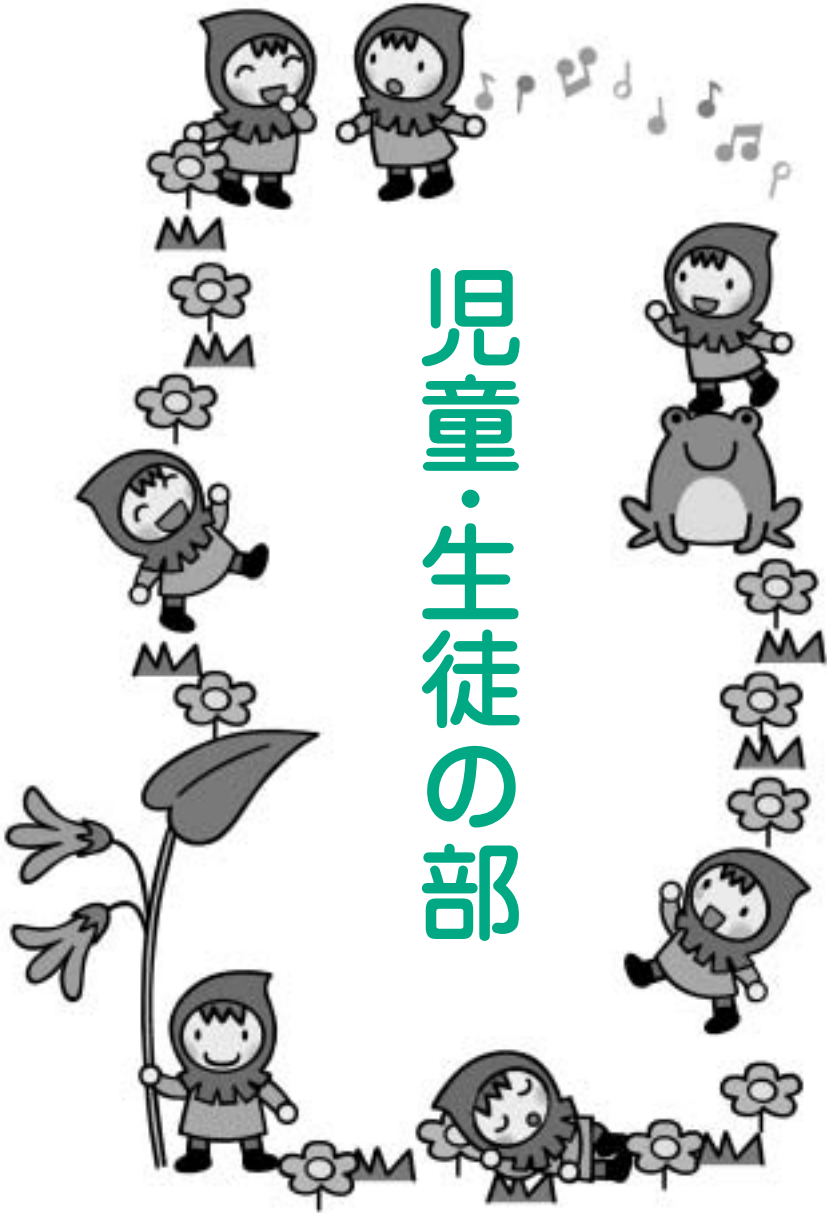
★は、入賞した代表10作品です。

★	(1)	日曜日の夕はん	笠岡市立今井小学校	第二学年	坂本 倫久	さん	5
★	(2)	はじめてのごはん作り	倉敷市立郷内小学校	第五学年	眞田 みなみ	さん	6
★	(3)	がんばれ、お父さん	倉敷市立菅生小学校	第六学年	貝原 香織	さん	7
★	(4)	わが家のすこやか日記	県立和気閑谷高等学校	第一学年	桜井 あゆみ	さん	8
	(5)	かくれんぼ	久米南町立誕生寺小学校	第一学年	磯山 駿	さん	9
	(6)	おとうさんとおふる	久米南町立誕生寺小学校	第一学年	井口 栞	さん	9
	(7)	家族で一番たよりになる人	総社市立清音小学校	第二学年	小出 彩未	さん	10
	(8)	かわいいよ 妹は	倉敷市立葦高小学校	第三学年	貝吹 明日香	さん	10
	(9)	わが家の当番	倉敷市立葦高小学校	第三学年	江口 航太	さん	11
	(10)	おじいちゃんの作った野菜	総社市立清音小学校	第四学年	中川 香澄	さん	11
	(11)	毎日言う母の言葉	倉敷市立菅生小学校	第五学年	岡田 妃菜乃	さん	12
	(12)	やさしいおばあちゃん	倉敷市立菅生小学校	第六学年	大槻 美里	さん	13
	(13)	命の大切さ	倉敷市立菅生小学校	第六学年	山口 沙都子	さん	14
	(14)	インフルエンザにならない父さん	久米南町立誕生寺小学校	第六学年	南 夏々香	さん	15
	(15)	毛布の中のスキンシップ	県立倉敷古城池高等学校	第一学年	S・S(女性)	さん	15
	(16)	わが家の晩ご飯	県立和気閑谷高等学校	第一学年	杉本 楠採	さん	16
	(17)	みんな大好きな母の料理	岡山龍谷高等学校	第一学年	田窪 千愛美	さん	17

● 一般の部

- ★ (18) 「うれしい待ちぼうけ」
倉敷市 T・T(女性)さん 19
- ★ (19) 笑顔で走った運動会
備前市 津島 明子さん 20
- ★ (20) 父と子の暗黙の日課
岡山市 田中 達哉さん 21
- ★ (21) おやすみなさい「いい夢を…」
笠岡市 守屋 絹代さん 22
- ★ (22) 子育ては育児書にはかいてない
吉備中央町 大月 厚子さん 23
- ★ (23) 我が家の教育指針
津山市 杉山 義和さん 24
- (24) 父からのメール
岡山市 河内 由香子さん 25
- (25) わが家の寝る前の儀式
総社市 秋山 弥生さん 25
- (26) 我が家の小さなナイト(騎士)
倉敷市 岡田 佳子さん 26
- (27) 主人と娘の交換日記
倉敷市 井上 千恵子さん 27
- (28) 悩み相談室は「母の手提げのポケット」
赤磐市 松本 緑さん 28
- (29) 我が家の食育「おむすびは娘から孫へと結ぶ味」
岡山市 小林 計子さん 28
- (30) 子育てエピソード
岡山市 内田 住恵さん 29

児童・生徒の部



◆大家族バンザイ賞◆

日曜日の夕はん

日曜日の夕はんは、みんなで食べます。九人が八人で食べます。冬はてっぱんやき、夏はそうめんを食べます。四時三十分か五時ぐらいに食べるので、八時におなかがすきます。しゃべりながら食べるので楽しいです。毎週日曜日はパーティーみたいです。

〔補足説明〕

我が家は四世代家族。普段は別々に食事をとりますが、日曜日は一緒に食事をし、家族会議です。おばあちゃんの味を知り、大勢で食べる楽しみも得られると思います、我が家のルールとなりました。

笠岡市立今井小学校 第二学年 坂本 倫久さん



審査員より

家族みんなで、おしゃべりしながらの食事はとても楽しそうですね。おばあちゃんたちも、きっと楽しみにしているんじゃないでしょうか。家族の絆を深めるこのルールを、これからも大切にしてください。

◆お母さんおいしいよ賞◆

はじめての「ごはん作り」



私は、この夏「ごはんを作った。たまご料理をしているとき、油に水が入って油がはねた。そのときお母さんが

「だうじやうびん。」

と聞いてくれた。それはとてもうれしかった。

私が作ったごはんをみんな、

「おうらう。」

と言ってくれた。みんなから言われると、とてもうれしいものだとはじめて知った。

これからも、お母さんに、「ごはんのときは、

「おうらう。」

と毎回言おうと思う。

倉敷市立郷内小学校 第五学年 眞田 みなみさん

審査員より

はじめてなのに、料理がおいしくできたなんてすごい！家族みんなに喜んでもらってよかったですね。毎家族のためにおいしい料理を作ってくれるお母さんも、「おいしい」と言ってもらって、ますます腕を磨いてくれますよ。

◆お父さんががんばってる賞◆

がんばれ、お父さん

私のお父さんは、料理が下手なのに、よく晩ご飯を作ります。そのたびに、

「おいしーいからおいしーいかな。」

と聞こえます。

「おごころなご。」

と一言と怒るので言えません。

けど、その日の夜に、お父さんが料理の本を読んでいるのを見て、今までお父さんの料理がま
ずいからきらいだと思っていた自分が、少しはずかしくなりました。

お父さんは、がんばって料理を作っているんだなあと思いました。こんど一緒に晩ご飯を作り
たいなと思いました。

倉敷市立菅生小学校 第六学年 貝原 香織さん

審査員より

「おいしいか?」と聞くお父さんの気持ちと、「おいしくない。」と言えない香織さんの気持ちが伝わってきます。料理に挑戦するお父さん、素敵ですね。お父さんと一緒に作った晩ご飯、きつとおいしいでしょうね。



◆おじいちゃんありがとう賞◆

わが家のすこやか日記



私の祖父は、人のためなら苦勞をおしまない人だ。人から頼まれたことは、自分の時間をさいても一生懸命やる。

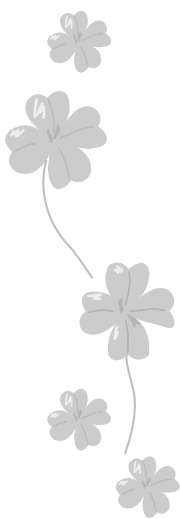
例えば、雨の日に私が学校から帰ってきてくつをそのままにしていると、次の日にはごろごろになっていたくつがきれいにみがかれている。いつも朝は、ばたばたと出かけて行くから、足元なんて気づかない。母に言われて初めて気づいた。あえてくつをみがいていることを言わないのが祖父らしい。

おじいちゃん、いつもありがとう。

県立和気閑谷高等学校 第二学年 桜井 あゆみさん

審査員より

あゆみさんが、おじい様を尊敬し、多くの事を学んでいらっしやるのが伝わってきます。日々家族の皆さんのことを思い、あたたかく見守っていらっしやるおじい様をこれからも大切にしてくださいね。



かくれんぼ

日よう日は、あめだったから、いもうととかくれんぼをしました。おかあさんもいっしょにかくれんぼをしました。おかあさんは、からだが大きいからすぐ見えてわかりました。
一ばんおもしろかったのは、お風呂におかあさんがかくれたら、まる見えてわかりやすかったです。

久米南町立誕生寺小学校 第一学年 磯山 駿さん

おとうさんとお風呂

おとうさんとなかなかお風呂にはいれません。でも、おとうさんが七じにかえってゐると、でんわでいたので、ひさしぶりにお風呂にいっしょに入りました。
お風呂で小学校のことをいっぱいはなしました。たのしかったです。

久米南町立誕生寺小学校 第一学年 井口 葉さん



家ぞくで一番たよりになる人

わたしが一番すきなのは、おばあちゃんです。なぜなら、雨の日も、晴れの日も、いつも学校について来てくれるからです。一年生からずっとついて来てくれるので、あんしんして学校に行けます。晴れの日には、わたしがかつている犬のリボンといっしょに学校に行きます。毎日、学校に行くのが楽しくなります。

いつでもたよりになるおばあちゃんは、すてきです。いつまでも、いつまでも、生きていてほしいです。これからも、学校に来てね。

総社市立清音小学校 第二学年 小出 彩未さん

かわいいよ 妹は

わたしは、お父さんが仕事で夜おそく帰るので、よく妹のおふろの手つたいをします。

どんなお手つたいをするかと言うと、ふろから妹がでるときに、体をふいてあげます。妹は、まだ0才で、お母さんからはなれるとなきます。でも、妹がかぜをひくとかわいそうなので、いそいで服やスポンをきさせます。お母さんが弟のことをあらっている間、一人でしないといけないのでたいへんです。

でも、妹がとてもかわいいので、いつもおせわをしようと思っています。妹がとてもすきです。

倉敷市立葦高小学校 第三学年 貝吹 明日香さん

わが家の当番

ぼくの家では、当番を決めて、手つだいをしています。妹がカーテン係で、ぼくがごみ当番です。妹は、朝起きたらカーテンをあけて、夜くらくなるとカーテンをしめてくれます。ぼくは、へやのごみばこがいっぱいになったら、まとめてごみをすてに行きます。いまは、まだ

「カーテン係さん、ごみ当番さん。」
と言われないとできないけど、言われずにがんばりたいです。

倉敷市立鞆高等学校 第三学年 江口 航太さん

おじいちゃんの作った野菜

うちには、小さな畑があります。毎年、春に畑をたがやします。なえを植えます。大きくなるように、なえをまびきます。こやしをやります。そして、おいしい野菜ができます。

そのせわは、おじいちゃんがしています。夏の暑い日も冬の中でもがんばってくれています。おじいちゃんの作る野菜の味は、スーパーで買ったものより、あまくて新せんでとてもおいしいです。そんな野菜をいっぱい食べられるのは、とてもしあわせです。

おじいちゃん、これからもずっと元気できてね。もっともとおいしい野菜を作ってね。

総社市立清音小学校 第四学年 中川 香澄さん

毎日言う母の言葉

私が、学校に行く前に、母は必ず、

「気をつけていってきてね。」
とか

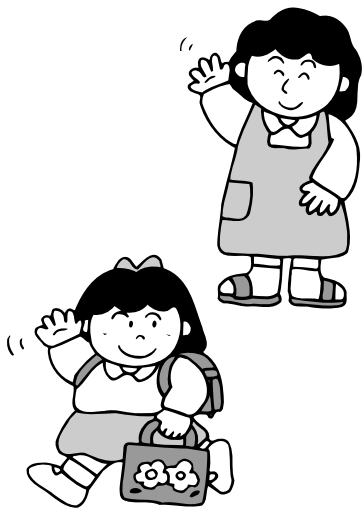
「車にひかれないようにね。」
と言う。

もう五年生だから、言われるのは、はずかしいけど、とってもうれしい。だから中学生になっても、高校生になっても、毎日言っただけほしくないな。

そして、私も大人になって、子どもができたら、必ず「気をつけていってきてね。」

で、中学生になっても、高校生になっても言えたらいいな。

倉敷市立菅生小学校 第五学年 岡田 妃菜乃さん



やさしいおばあちゃん

私の両親は共働きでいつも帰りがおそくなります。なので、私と兄と姉はほとんどおばあちゃんの家に戻ります。

私や兄や姉が帰ってくる時、

「おかえり。」

とむかえてくれます。その時、私と兄と姉は大きな声で

「ただいまー！」

と言っています。

晩ご飯になるとみんなで協力をして準備をします。その時私はいつも気がつくことがあります。それは、おばあちゃんは自分の分を少なくして、私と兄と姉の分を多くしてくれることです。それに気づいた時、私はおばあちゃんに、

「あじがとう。」

と言っています。

でもあまり伝えられていないので、今度おばあちゃんに「いつもありがとう。」という気持ちをごめて、いろいろな手伝いをしてあげたいと思います。

倉敷市立菅生小学校 第六学年 大槻 美里さん



命の大切さ

私は産まれた時、とても早く産まれたので、お父さんとお母さんは、お医者さんから、「もしかしたら、耳にしょう害があるかもしれない。手が動かないかもしれない。足で立てられないかもしれない。目が見えないかもしれない。」

といろいろなお医者さんから聞いたといっていました。その夜はねむれないほど私をととても心配してくれました。

おばあちゃんは、毎日神社にいった、私のためにお祈りしてくれたと聞きました。お医者さんからいろいろな心配なことをいわれていたけど、私はどこにもしょう害もなく無事に育ちました。いろいろな注意されているけれど、私はとても愛されているんだなと思いました。

〔補足説明〕

私はこのことを知ったとき、とても感動しました。最近男の子が交通事故で亡くなったことを知った時、命はすぐに失ってしまうものと改めて知りました。だから一日、一日を大切に生きていこうと思いました。

倉敷市立菅生小学校 第六学年 山口 沙都子さん



インフルエンザにならない父さん

「もし父さんがインフルエンザになったらだれが看病するん？」と私が聞くと、父さんが

「父さんはインフルエンザになんかなったれんのじゃ。おまえらがおるけん。」とこわい顔で言った。

夜おそくまで仕事して帰った後に、晩ご飯を作ってくれたりしてくれる父さんは、ここまでの私の事を考えてくれているんだと気がついた。父さんの強い気持ちが私にしっかりと伝わった。

久米南町立誕生寺小学校 第六学年 南 夏々香さん

毛布の中のスキんシップ

わが家のリビングの暖房は、電気ストーブなので、テレビを見るときには、毛布をかけて家族みんなで見ます。

お父さんと私。お母さんと妹。時にはみんなといっしょにWの毛布に入って少しはすかしいけどうれしいです。

くすくすしたり、なでてもらったり。くつついて暖かくて、最高の暖房だと思います。部活でつらいとき、勉強が大変なとき、特にうれしいです。

我が家の大切なスキんシップです。

県立倉敷古城池高等学校 第一学年 S・S (女性) さん

わが家の晩ご飯

小学校の頃、よく晩ご飯の手伝いをしていました。中学に入り、部活などで帰るのが遅くなり、なかなかご飯と一緒に作るという事が出来ませんでした。

たまに早く帰れた時、家に入ると聞こえてくる、まな板で野菜を切る音が本当に好きで、幸せな気持ちになりました。

そんな私は、今高校二年生になり、部活をしていないので、親より早く帰れるようになりました。

ある日、みんなの晩ご飯を作っていると、母親に「帰って野菜の切る音が聞こえるのはいいね。」

って言われ、うれしく思えました。少しは大人になったかな？って思った晩ご飯作りでした。

県立和気閑谷高等学校 第二学年 杉本 楠採さん



みんな大好きな母の料理

お母さんは、いつも手作りの料理を作ってくれます。ちゃんむしや揚げ物など時間のかかる料理でも、冷凍食品やお店のおそつざいを使わず、手作りであったかいうちに私達家族が食べられるように工夫してくれます。

お母さんは、毎日朝早くから家族のお弁当を作っています。ほとんど手作りで、冷めてもおいしく食べられます。だから、私は冷凍食品やおそつざいなどが苦手です。

口に出すのははさずかしいですが、いつもお母さんに感謝しています。私も将来お母さんのようになりたいです。

岡山龍谷高等学校 第二学年 田窪 千愛美さん



一般の部



◆お母さん信じてる賞◆

「うれしい待ちぼうけ」



幼稚園のお迎えの時、名前を呼ばれたのになかなか子どもが出て来ない。姿は見えていたはずなのに、待っても待っても出てこない。そこへ中から出てきた先生に尋ねると、どうやらこけて泣いていた女の子の為に、ばんそうこうをとり先生が部屋へ戻っていったようです。

「お母さん待ってるから、早く帰りーよ。」と声をかけたようですが、

「大丈夫！お母さんなら待っててくれる、そういつ人だから。」と走っていったようです。

子どもが門を出てくる間、小さな救急隊の大きな優しさで、私の事をそんな風に思っていてくれたことがうれしくて、なんだかあったかい気持ちで待っていました。

〔補足説明〕

待つ間、女の子の泣き声が聞こえてきたので、もしかしたら先生を呼びに行っても行ったのかな？とは思っていたので、予想は中でした。また、「お母さんなら待ってくれる。」との言葉に、子どもの行動を知りもしないで怒ってしまう時もあり、反省もした出来事でした。

倉敷市 T・T (女性) さん

審査員より

お子さんとの信頼関係が、しっかりと築かれていて「生懸命子育てをされている姿が伝わってきます。お母さんなら待つことについてもしっかりと向き合っていることが、親として本当「嬉しい」ですね。他人を思いやる心、わかりも持ち続けてほしいです。

◆家族で支えた賞◆

笑顔で走った運動会

「運動会のかげこの練習で、全く走ろうとしません。」
保育園の先生にそう言われて、私はがーん、としました。四歳の息子は私に似て運動が苦手。幼な心にも恥ずかしさを感じたのです。

その日から、私は毎晩「うさぎとかめ」の本を読み聞かせ、「遅くても最後まで走り抜く。」ことの大切さを伝えました。また、夫は時間を見つけて、息子と走る練習をしてくれました。

運動会当日、親の方がドキドキしていましたが、息子は決して速くはなかったものの、笑顔で最後まで走ってくれました。この日は私たち家族にとって最高の運動会になりました。

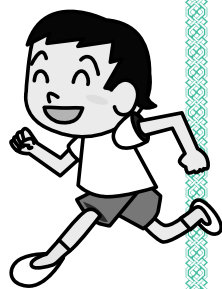
〔補足説明〕

もし息子がかけこの練習を嫌がらなかったら運動会当日息子が走る姿を見てもたいした感動が無かったと思います。この事件のおかげで、私たち家族は大切なことを学んだと思っています。

備前市 津島 明子さん

審査員より

努力することの大切さを教えようというお父さん、お母さんの熱い思いが伝わってきます。家族みんなで走った思い出あふれる運動会になりましたね。お子さんも、きつとお父さん、お母さんの思いをしっかり受け止めてくれていますよ。



◆寝る前に一冊賞◆

父と子の暗黙の日課



わが家の幼稚園児の息子とは、寝る前に必ず本を一冊だけ一緒に読んで、息子が寝るまで側にいます。

平日二十四時間の内、僅かな時間しか接することができず、何も出来ない父親ですが、帰宅が遅く息子が寝ていない限り、ビールもゴハンも後回しにして、唯一、日々ふれあえる時として、物心ついた頃から続けています。私と息子の暗黙の日課として、今日も明日も明後日も。

〔補足説明〕

本は、絵本に限らず、ポケモンやウルトラマンや迷路や恐竜など息子が持ってきた本で、決して教育的な本ではありません。

岡山市 田中 達哉さん

審査員より

子どもとのふれあいの時間をなかなか確保できないのは、働く父親の悩みのひとつですね。毎日続けることは大変ですが、お子さんもきつとお父さんに読んでもらうことを楽しんでいくことでしょうね。

◆グッドナイト賞◆

おやすみなさい 「いい夢を…」



我が家では子どもが小さい時から

「おやすみなさい いい夢を…」

と言っていました。それは子どもが成長し社会人になってからもです。

大人になってからは、子どもからも私にそう言ってくれます。一日をふりかえり、やさしい気持ちになって眠りにつく事が出来ます。

親子げんかをして口をきかない夜はとっても悲しく、心の中で

「おやすみなさい いい夢を…」
と言っていました。

一日の締めくくりとして大切にしてきた声かけです。

〔補足説明〕

おはつたつごさいます・いただきます・ごちそう様でした・行ってきます・行ってらっしゃいなど気持ちの良い挨拶は生活する上で基本となっています。特に、おやすみのあいさつを大切にしています。

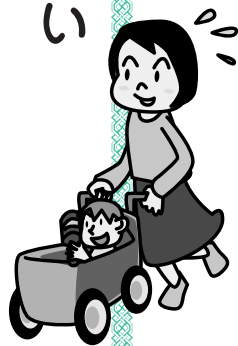
笠岡市 守屋 絹代さん

審査員より

人と人とのつながりの基本であるあいさつを、家庭でとても大切にされておられますね。素敵なおやすみのあいさつは、お子さんもきっと受け継いでいけるでしょうね。

◆母は強い賞◆

子育ては育児書にはかいてない



私は体にハンディがありますが、今二十六才になる娘を育ててきました。夫もハンディがあり、子どもを授かった時「自分の事」もできないのにと二人で悩みましたが、皆様のお力ぞえを力に出産しました。

初めのうちは首がすわらないので「マクラ」で支えてみたり、いろいろ工夫して何とか育児ができるようになりました。ハンディのない方でも首がすわってないところわいのにと今考えてみたらなつかしいと思ひ出されます。

育児は大変だけど自分への勉強になります。若いお母さんが頑張ってください。

〔補足説明〕

主人は平成二年に亡くなりました。

吉備中央町 大月 厚子さん

審査員より

育児書や様々な情報に振り回されることもしばしばはある若いお母さんにとって、心強い言葉です。子育てをすることは、自分も親として成長する親育ちをすることなんです。ね。

◆みんなが主役賞◆

我が家の教育指針

幼稚園の演芸会「菊水の別れ」で幕引きの役を貰った時の事、今でも鮮明に覚えています。

「お母ちゃん、ぼく幕引きの役なんだ。やめた。」
と言った時、母は

「幕引きは大変な役ですよ。幕が上がるから劇がはじまるのです。幕引きも主役と同じです。」
と言われ、この一言で幼年時代を楽しく過ごせました。

この子育て精神は、我が家の教育指針です。

津山市 杉山 義和さん



審査員より

お母様のお言葉は、大変素晴らしいですね。わが家の教育指針はどついつものか、親として常に考えて子育てしなくてはと考えさせられました。



父からのメール

その日は、仕事で一日中歩き回り家に帰った時はヘトヘトでした。そして、家に着いたと同時にメールがきました。父親からでした。

「今日は、忙しかったろ。『ご飯食へよつるか?』」

変な所で改行していたりする、たどたどしいメール。

そんな父親からのメールは、疲れに一番効く作用があります。

岡山市 河内 由香子さん

わが家の寝る前の儀式

わが家は寝る時間になると、ある儀式がはじまります。それは、私との「ハグ」です。兄弟みんなやり方が違っていて、「おやすみ」と言って「ぎゅー」したり、タッチして「ぎゅー」とか、「ぎゅー」して「バイバイ」とかいろいろあります。

みんなひとりで眠るための大切な儀式のようです。私の方は、みんなに愛情を注入するための大切なスキンシップになっています。このハグのおかげで、心が安定して過ごせています。またまだ、これからも続けていけたら良いなと思います。

総社市 秋山 弥生さん

我が家の小さなナイト(騎士)

今年の母の日、小三の三男と手をつないで道路を歩いていた時のこと…。いつものように、車道側を私が歩いていたので道路を歩いていたのですが、三男が、スッと手を離れたかと思うと、車道側にいらぬのです。そして、私の手をひき、

「今日は母の日だから、ママがこっち（内側の歩道側）」。

と言った二コッとしたのでした。小さなナイト(騎士)ぶりに、思わず涙がこぼれ、ギュッと抱きしめました。

その日の出来事を思い出す度、日々の忙しさや疲れもフッと忘れ、心がほわーっと温かくなります。三男には、「あじがよっね…」の思ひびこっせいです。

〔補足説明〕

つい先日、学童保育の迎え帰りに道路を歩いていた時、車が脇を通ると三男は、私を引き寄せ、

「あんなにきゅー…」

と優しく言うのです。

日々、ついキツイ口調で接する私は、大きく深く反省しました。私も、この子のように、にこやかに優しく子どもに接していけたら…。子どもは、私の大きな大きなお手本です。

倉敷市 岡田 佳子さん



主人と娘の交換日記

「おかえりなさい。お父さん。」で始まる帰宅の遅い主人への娘からの交換日記。ある日の夕食献立メニューの図に添えて、

「おかずはラップをしたまま二分あたためてね。あついでフーフーして食べてね。」とコメントがありました。

次の日の朝、主人が

「おかげで舌をやけどせず、おいしく食べられました。お父さんは○○ちゃんのごとばに心がホッホッホです。」

と書いてあるのを見つけました。

交換日記でも、主人と娘の良い関係がずっと続くよう応援したいと思っています。

倉敷市 井上 千恵子さん



悩み相談室は「母の手提げのポケット」

難しい成長期の二人の娘。母の手提げのポケットの中から顔をのぞかせるかわいいうレター。娘達の悩み相談室は、母の手提げ袋のようだ。いつまで続くのかと思うこともあるが、いつまでも続いてほしいとも思える。

〔補足説明〕

家族の伝言板には、家族それぞれの予定や思いがぎっしりと書かれている。それにもかかわらずレターが…。

最近のこと、レターが見つかるポケット(化粧ポーチ、筆箱、手提げ袋)により、悩みの度合いがあることに気付いた母である。

赤磐市 松本 緑さん

我が家の食育「おむすびは娘から孫へと結ぶ味」

子どもの頃、学校から帰ると、食卓に大きな「おむすび」が五〜六個。

「お帰いなさ〜い。た〜さんた〜さん食へられ〜よ。」
と祖母が笑顔で迎えてくれる。

学校のでき事を話しながら食べたおむすびのおいしかったこと！

その味は、祖母→母→私→娘→孫へと五世代続いています。

これが我が家の食育です。

岡山市 小林 計子さん

子育てH.P.インタビュー

年子で産まれた双生児、お父ちゃんと一人ずつ負んぶして餅つきをする。長女六つ、次女二つは、とり粉をふっている餅箱に座ぶとんを敷いて汽車ポッポ。我が家は娘ざかり。お正月の挨拶は、私から長女へと順番にお父ちゃんにして皆で「おめでとう。」

と云ってお年玉をもらおう。

一生懸命働いて買った娘達の晴着、無我夢中で子育て、四人修学旅行、卒業。子ども達はアルバイトしながら、長女は栄養士、あとの三人は看護師になった。

年頃になじ、

「お父ちゃんみたいな人と結婚したい。」と云ってくれた。

金婚式を迎えた私達。お父ちゃんは脳梗塞三回、失語症、前立腺ガン。私も引き逃げにあい障害者、膀胱ガン、高骨ケルパン等で十回の手術(車椅子)。よく見守り介護してくれる娘達。

「二人とも働きすぎたんよ。」

「元気に産んでくれて大きくなってくれたお礼よ。」

「いちいちありがと云わなくてもいいよ。」と云ってくれる。

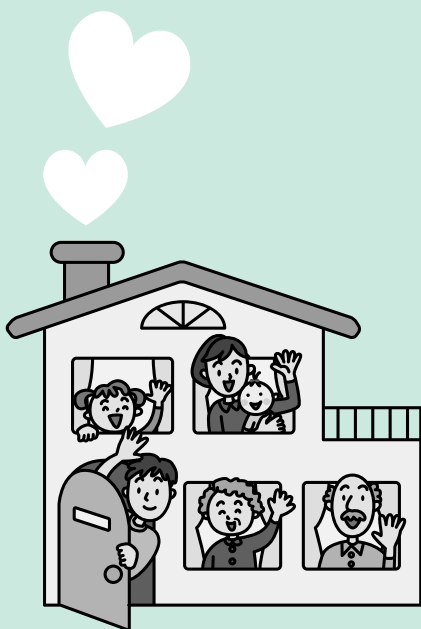
「ありがと。」

孫十人、ひまご十二人、家族愛絆に感謝して、今日もお父ちゃんと仲良く、助け合って生きていく。

岡山市 内田 住恵さん

わが家で取り組んでみたいことがありますたら、メモしておきましょう。

The image shows a large rectangular frame with a decorative border composed of various shades of grey circles and squares. Inside the frame, there are seven vertical dashed lines, creating eight columns for writing. This is a template for a family meeting or discussion.



発行・監修

岡山県地域家庭教育推進協議会

<事務局> 岡山県教育庁生涯学習課
〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

TEL (086)226-7597
FAX (086)224-2035

岡山県教育庁生涯学習課のホームページから、この冊子をダウンロードすることができます。

ホームページ で